＜別記 4＞

平成16年度 再評価対象事業一覧表

平成16年 9月 2日作成

整理番号	事業計画							再評価の理由	再評価の視点										対応方針（原案）	前回審議年度
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期 着工	工期 完了		事業進捗の状況及び見込み 前年度末事業費	事業進捗の状況及び見込み 進捗率	事業進捗の状況及び見込み 用地進捗率	事業進捗の状況及び見込み H16年度事業費	事業進捗の状況及び見込み H17年度以降事業費	関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析 B／C 当初	費用対効果分析 B／C 現行	費用対効果分析 分析基礎の要因の変化	コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無		
					上段：当初　下段：変更	上段：当初	下段：変更		（億円）	（%）	（%）	（億円）	（億円）									

土木部

都市計画課

都市ー1	街路事業	浦上川線	県	長崎市	延長700m　幅員40m　　設計速度60km/時　地下立体交差1箇所 延長860m　幅員40m　　設計速度60km/時　高架橋1箇所 地下立体交差1箇所　橋梁1箇所 延長770m　幅員40m　　設計速度60km/時　橋梁1箇所 延長2，330m　幅員40m　設計速度60km/時　高架橋1箇所　地下立体交差2箇所　橋梁2箇所	H2 (H8) (H11) H2	H18 (H18) (H18) H21	200.0 (240.8) (150.0) 710.0	再評価後5年経過	397.8	56	90	35.5	276.7	長崎駅周辺土地区画整理事業及び連続立体鉄道高架化事業は、早期の都市計画決定に向け協議中。	社会資本整備に対する財政的制約。　事業費増加の理由：大型機械工場補償費の精査、及び高架橋の耐震構造基準の変更による設計変更、並びに関連事業との調整による旭大橋との交差部分の地下トンネルへの変更が費用増加の主な理由となっている。	国道206号の渋滞緩和及び防災上の観点により早期完成を望んでいる。	2.50	1.84	完成年度の遅延により現在価値化便益の低下	立体交差構造の再検討及び新工法の採用等でコスト縮減を図る。	継続	H11
住宅課																					
住宅-1	住宅市街地基盤整備事業	三原町浜平町線	市	長崎市	道路改築 L=3，220m　W=10m	H2	H19	53.2	社会情勢の変化	31.2	59	85	0	0	当該路線に接続予定の江平４号線は計画どおり進捗	団地開発の規模縮小に伴い、補助採択要件を満たさなくなる。	早期完成を要望	ー	8.24	採択時、算出なし	別の補助メニューを模索中	中止	H11
水産部																					
水産基盤計画課																					
水計-1	漁業集落環境整備事業	奈摩地区 （奈摩漁港）	町	上五島町	＜冷水地区＞ 漁業集落排水施設　１式　→追加 ＜奈摩・網上地区＞ 漁業集落道Ｌ=800m　→1，130m 水産飲雑用水施設　１式 漁業集落排水施設　１式　→追加 ＜青砂地区＞ 緑地広場施設　１式 漁業集落道Ｌ=1，555m　→追加 漁業集落排水施設　１式　→　追加	H13 H13	H16 H24	8.5 49.9	漁業集落道・水産施設増による漁業集落排水計画変更	8.5	17	ー	0.3	41.1	広域漁港整備事業 漁港環境整備事業	漁港背後に立地する集落内の生活環境の整備は立ち遅れており、また、生活排水等の流入による懸念され海域環境の悪化が懸念される。よって、集落排水施設（汚水）や集落道等を追加し、集落内の改善と水産業の改善による水産生活環境の改善を図る。	庭摩に家でも奈入の漁業地元排水の流質の影響環境のへの水保全に対し抱郷会な雑湾よる養殖協議する進が濁にがえる影響関おり、推望に与え生活協議する進が濁にや、生活海辺のへの対し抱郷会な雑湾よる養殖